

環境省と防衛省の事務次官の出身省庁

出典：事務次官名簿・略歴より篠原事務所作成

25.06.03環境委員会 立憲民主党 篠原 孝

環境庁・環境省						防衛庁・防衛省					
年次	出来事	次官氏名	出身省庁	環境省での主な経歴	次官に なるまで	年次	出来事	次官氏名	出身省庁	防衛省での主な経歴	
1971	環境庁発足	梅本純正	厚生省			1957	防衛庁発足	今井久	内務省		
以降30年間厚生省と大蔵省がおおむね半々						以降25年、主に内務省・警察庁、大蔵省3回					
						1983		夏目晴雄	特別調達庁		
2001	環境省発足	太田義武	厚生省			1988	31年目初の生え抜き	西廣整輝	防衛庁		
2002	厚生省2人と大蔵省2人と交互	中川雅治	大蔵省			以降 防衛省5人 警察庁1人 大蔵省5人					
2003		炭谷茂	厚生省								
2006		田村義雄	大蔵省								
2008	37年目初の生え抜き	西尾哲茂	環境庁	1999環境保健部長							
2009		73入省 小林光	環境庁			2007	防衛省発足	守屋武昌	防衛庁		
2011		74入省 南川秀樹	環境庁	1997環境保健部長		2007		増田好平	防衛庁		
2013		76入省 技 谷津龍太郎	環境庁			2009	守屋次官の逮捕後の 内紛收拾のため、中 立的部外者が必要	中江公人	大蔵省	(82～84農水省大臣官房企画室 にて篠原の部下) 98～00防衛庁 経理局会計課長、7経理装備局 長、大臣官房長9/8事務次官 (4 年)	
2014		鈴木正規	大蔵省	8大臣官房審議官、自然環境局長、地球環境局長、 大臣官房長、 14/7事務次官 (石原伸晃⇒望月義夫大臣)	6年	2012		金沢博範	防衛庁		
2015	4代続けて環境庁 出身の事務次官が 続く	技 関莊一郎	環境庁			2013	2012年～現在まで 13年間8代続けて防 衛庁出身	西正典	防衛庁		
2016		小林正明	環境庁								
2017		森本英香	環境庁								
2019		鎌形浩史	環境庁								
2020		中井徳太郎	大蔵省	11総合環境政策局総務課長、大臣官房会計課長、 秘書課長、審議官、廃棄物・リサイクル対策部長 17/7総合環境政策統括官、 20/7 事務次官 (原田義昭⇒小泉進次郎大臣)	9年	2015		黒江哲郎	防衛庁		
2022		技 和田篤也	環境庁	09環境保健企画課長		2017		豊田硬	防衛庁		
2024	3年しか環境省に 勤務していない	鍵水洋	大蔵省	21/7大臣官房長、総合環境政策統括官、 24/7事務次官 (伊藤信太郎⇒浅尾慶一郎大臣)	3年	2018		高橋憲一	防衛庁		
						2020		島田和久	防衛庁		
						2022		鈴木敦夫	防衛庁		
						2023		増田和夫	防衛庁		

※金融庁、2000年発足、初代長官は法務省、その後はノーリーターン (ずっと金融庁) が長官、つまり財務相から完全独立